

秋田市デジタル化推進計画【第2.0版】（骨子案）に対するご意見一覧

デジタル化推進本部

NO.	分類	意見内容	意見へのご回答
1	組織	P11推進体制 →指導・支援とありますが、分野横断的に推進する場合、ある程度の強制力も必要になってくると思います。デジタル化推進本部の企画・調整、指導・支援に対して、各部署は従うことになるのでしょうか？ また、上記内容は公表されるのでしょうか？ 一律にデジタル化することが絶対では無いと思いますが、情報が公表されないと検討状況が見えてこないと思いました。	・デジタル化推進本部では、デジタル化に係る取組を企画・調整し、業務所管課へ技術的な支援を行うなど、組織全体のデジタル化を部局横断的に推進する役割を担うとともに、全庁のデジタル化推進を統括する「デジタル化推進会議」を所管し、部局横断的な指導・調整を行っております。また、具体的取組として取りまとめた個別施策をデジタル化推進計画へ掲載し、年度ごとにその進捗状況等を明らかにしております。
2	効率化	DX推進とても賛成です。この間、町内から広報誌が配られました。とても普段使わないような分厚くて光沢のある高そうな用紙にカラー印刷されていました。データ化すればもっと費用を抑えられるのに勿体ないねと家族で話したばかりです。デジタル化すればコストも時間ももっと抑えられる事が多いと思います。まず市からはじめ、それから自治体、個人へとどんどん普及していくべきだと思います。	・この度改定する本計画に基づき、市民の利便性の更なる向上と行政運営の効率化を図り、より多くの方々がデジタル化の恩恵を実感できるよう努めてまいります。
3	効率化	全体として 行政手続きの簡素化、効率化は一般市民が多く望んでいることであり、実現のためのデジタル化には最先端の技術を活用し、推進していただきたい。また、一般市民の多くが活用するのはアプリ(ソフト)で決まると考えており、説明書を見なくても手続きが完結するような使いやすいアプリ(ソフト)を開発していただきたい。そのためには、書面の業務をデジタル化するのではなく、業務自体のプロセスの見直しも必要ではないかと考える。	・行政手続きの簡素化および行政運営の効率化を進めるに当たっては、最小の経費で最大の効果を上げられるデジタルツール(ソフトやシステム)等を選択するとともに、ただ単にツールの導入にとどまる事なく、業務自体のプロセスの見直しも併せて行ってまいります。
4	効率化	P13情報の共有と価値の創出 →情報の結び付け、活用の促進において、既存の情報の問題点等を教えてください。	・本市では、以前よりグループウェアなどを利用し、全庁的な情報共有とノウハウの活用を行い、かなりの成果を上げております。ただ、それ以外のシステムの連携などにおいて、対応しきれていない場合がでてきております。例えば、災害時における各部局間の情報の共有について課題があったことから、平時からの情報共有やその手法等について検討を進めているところです。
5	効率化	P15 →子育て家庭としては、秋田市の子育て情報が流れてくるlineがあれば十分だと思います。なお、広報あきたもlineに掲載してもらえると、誤って捨てたときに見ることができるので、安心かなと思います。	・広報あきたについては、令和6年度に秋田公式LINEから掲載ページに入れるよう検討を進めております。
6	効率化	P20 (3) 誰一人取り残されないための仕組みについて。サポートする事は大事だと思いますが、覚えることに消極的な方も多いので「デジタルの方が得をする」という運用にはいかがでしょうか。用紙を用い窓口で手続きをすると有料だが、データで送れば無料とか。	・いただいたご意見は、本市のデジタル化を推進するに当たり参考とさせていただきます。
7	効率化	P.17 行政手続きのオンライン化 市役所内、市外の自治体との情報共有があると助かる 仕事で市の証明をとり、同じ市内の別の課の証明をとるための添付資料にしたり、がなくなると助かります	・マイナンバー制度における行政機関等の間での情報連携により、各種の行政手続きにおける添付書類の省略などが可能となっております。本市においても、申請時の添付書類の省略について検討を進めてまいります。
8	効率化	税金の還付金を受け取るのも銀行に行かなければならないですが、せっかくマイナンバーに口座登録しているのになぜそこに振り込まないのでしょうか。	・本市では、介護保険課から被保険者個人に支給される各種振込について、公金受取口座を利用することができます。突発的に発生する還付金等の振込については、現時点では、公金受取口座を利用するよりも早く振り込むことができる、それ以外の手法で対応しているところです。マイナンバーの口座利用については、各種制限があるため、今後利用しやすくなるよう、国に働き掛けてまいります。
9	効率化	P17 (エ)マイナンバーカードの普及・活用 マイナンバーカードの普及については、今後も取得しやすい環境の整備に努めていただきたい。ただし、活用については導入からほとんど進んでいないように感じられる。マイナポイントの取得ではなく、行政サービスを受けるためのインセンティブがもっと必要と考える。行政の手続きや子育てを含めた公共サービスの利用や情報取得などマイナンバーカードを使用する場面が多くなり、利便性が高まれば、自然に普及が進むものとする。	・今後も引き続き、マイナンバーカードの申請に必要な写真撮影や入力サポートを行ってまいります。また、本市ではマイナンバーカードを利用することで住民票など各種証明書が取得できるコンビニ交付やオンライン申請が利用可能となっており、引き続き、マイナンバーカードの利用による市民の利便性向上に繋がる取組を検討してまいります。
10	効率化	P24子どもを生き育てやすい社会づくり 今ある様々な手続きをネット申請に単純に置き換えるのではなく、一回の申請ですべてが完結できるようにしてほしいです。 デジタル化しても、プレママ教室に参加したとき、今後も「全部忘れないで！」と言われるのでは、何も変わっていないと思います。 結局何回も自分の住所と名前などを入力することになるフォームに対して「市役所に行かなくて便利」「コピペになって便利」だと考えるのでは足りないと思います。お母さんの時間の浪費を避けるため、きちんとしたフローを計画していただきたいです。	・行政手続きのオンライン化を進めるに当たっては、利用者視点に基づいた現状の把握と分析を行った上で、オンラインによる申請時の添付書類の省略や入力項目の簡易化等に取り組むことにより、利用者の利便性向上に努めてまいります。いただいたご意見を参考に、本市のデジタル化を進めてまいります。

秋田市デジタル化推進計画【第2.0版】（骨子案）に対するご意見一覧

デジタル化推進本部

NO.	分類	意見内容	意見へのご回答
11	効率化	<p>P24いきいきと暮らせる健康長寿社会づくり →バスロケーションシステムの利用実績を教えてください。 →バスロケーションシステムでは渋滞による運行遅れは考慮されていますか？ →バス停にバスロケーションシステムの案内や広報はありますか？ →そもそも、バス停の多くは雨ざらしでベンチもありません。高齢者や障がい者、妊婦、小さい子供連れにとっては、デジタル化より先に措置すべきことがあると思います。デジタル化することで効率的になり、その予算を確保するためということであれば、ぜひ進めていただきたいと思います。</p>	<p>・本市では、バスロケーションシステムに必要なデータ作成（オープンデータ化）までを事業として進めており、WEBサイト上での位置情報の公開については、オープンデータ化の付帯サービスまたはオープンデータを活用した第三者の取組となっていることから、利用実績は把握しておりません。 ・オープンデータ化しているものは、バスの現在位置と時刻表情報になります。現在位置という意味での渋滞等による遅れは反映されていますが、予測の部分についての考慮は困難です。 ・現在、一部のバス停には運行情報を示すサービスのURLを記載したQRコード等の貼付けを行っております。今後、対象車両の増加に合わせて、広報等を拡大する予定としております。 ・バス停における上屋やベンチについては、多額の費用を要するだけでなく、設置場所の確保や維持管理など課題が多いことから、設置は難しい状況です。バスロケーションシステムの整備により、いつ来るか分からないバスをバス停で待ち続けるのではなく、バスの運行状況を見ながら、バスに合わせてバス停へ移動する仕組みを構築することで、バス待ちに対するストレス等の軽減を図りたいと考えています。</p>
12	効率化	<p>私の自宅の前はスクールゾーンのため、通行許可証が必要です。この許可証の申請方法は非常に無駄が多いと思います。新規で申請ならまだわかるのですが、更新の場合でも周辺地図や車検証が必要です。以前提出した書類一式は保管などしていないのでしょうか。さらに2部ずつなのでコピー代も家族分となると結構かかります。さらに窓口を行って許可証を取りに行くと、平日仕事を休むか時間休を取らなければなりません。デジタル化しても何も問題ないように思いますが、なぜアナログでやっているのでしょうか。私もデジタルに強くないですが、時代に追いつけるよう覚えていきたいと思っています。</p>	<p>・いただいたご意見については、通行許可証の発行業務を所管している秋田県警へ情報提供いたします。</p>
13	広報	<p>P18市民への情報発信 →アクセスする最初のキッカケがWEBやSNS上とは限らないので、交通機関の主要な場所等に広告を出したり、デジタルサイネージを設置したりして、想定している対象者へ広報するのはいかがでしょうか。</p>	<p>・本市では紙媒体として月2回、広報あきたを全戸配布することによる情報発信を行っているほか、ご提案にあるとおり、秋田駅ぼぼろードや中心市街地循環バス「ぐるる」等に広告を設置するなど、対象者を想定した広報活動を行っております。</p>
14	情報アクセス	<p>P18市民が利用できる情報基盤の整備 →秋田空港やクルーズターミナル、秋田駅など、観光客が最初に降り立つ場所に公衆無線LANがあると印象的にも実際上も良いのではないかと思います。いかがでしょうか。 なお、都営バスは廃止してしまいましたが、路線バス（特に秋田空港線）に無線LANがあれば便利だと思います。 →長時間滞在したり、移動の拠点になっていたりする場所に整備・補助してはいかがでしょうか。 →生徒や学生が勉強している施設に優先的に整備・補助し、GIGAスクール構想や動画による勉強に対して支援するのはいかがでしょうか。</p>	<p>・本市では、市民が集う市民サービスセンターやコミュニティセンター、市立図書館など本市が所管する公共施設の一部で無料の公衆無線LANを提供しております。 ・また、秋田空港などに関するご意見については、当該施設を所管する秋田県やJR東日本などへ情報提供いたします。</p>
15	人材育成	<p>P10 デジタル推進体制について 1. 現在の市職員で構成されていますが、デジタル化という新たな改善を推進するためにデジタル推進主任からの意識醸成などができるでしょうか？ 部外からの新たな人材（デジタル化を推進した会社OB等）の関わりなどが必要と感じます。 2. 市職員のみならずには、DXに関わるリスキリングを受講（ビデオ学習など）する環境構築や資格試験を受験しやすくするための仕組みづくり（受験料の補助など）も必要と思います。</p>	<p>・デジタル技術の活用にあたっては、システムの内製化やネットワークの管理・運用などを行うスキルの必要性も高まっており、そのような専門性を要する業務については、関連する資格を有する職員やICT関係の職務経験者採用の職員の能力を活用しているところです。 ・また、職員のデジタル化に関する意識醸成と情報リテラシーの底上げを図るため、全職員を対象とした動画研修メニューの提供や管理職向けの講演会の開催等を実施するほか、引き続き、職員が業務上必要と認められる資格を取得した場合は、その経費の一部を助成してまいります。</p>
16	人材育成	<p>デジタル人材を育成するためにはどのようなことをすべきですか</p>	<p>・デジタル化に関する意識醸成と情報リテラシーの底上げを図るため、全職員を対象とした動画研修メニューの提供や管理職向けの講演会の開催等を行うこととしております。 ・組織的なデジタル化推進に向け、特定の職員に業務が集中することなく、課所室単位でデジタル化を推進できる体制を整えるとともに、外部研修機関への派遣やより高度な研修によりデジタル人材としてのスキルを持つ人材の育成を進めるため研修内容を充実させてまいります。</p>
17	人材育成	<p>P17 取組事項 1. デジタル化は、秋田市以外の市町村や県や国でも推進していることですので進捗の早いところの取組を参考にしたらいかがでしょうか？ 2. デジタル化のすすんでいる一般会社の社員を招いての講演会や学習会を開催してはどうでしょうか</p>	<p>・デジタル化については、先進自治体の取組を確認して行政手続のオンライン化やキャッシュレス決済の導入などを進めてまいりました。また、民間企業等が講師となるDX関連のセミナーにも積極的に参加し情報収集に努めてまいります。</p>

秋田市デジタル化推進計画【第2.0版】（骨子案）に対するご意見一覧

デジタル化推進本部

NO.	分類	意見内容	意見へのご回答
18	人材育成 セキュリティ	DX(デジタルトランスフォーメーション)については、様々な企業で推進されてきています。企業のみならず、行政においても推進は必須と考えます。重要となるのは、素早い対応と人材の育成であると考えます。また、運用にあたっては情報セキュリティの徹底を図っていただきたいと思ひます。	・デジタル化の推進に当たっては、デジタル化に関する意識醸成と情報リテラシーの底上げを図るため、全職員を対象とした動画研修メニューの提供や管理職向けの講演会の開催等を実施するとともに、秋田市情報セキュリティポリシーに基づくセキュリティ対策を講じ、情報システム等の厳格な管理を行ってまいります。
19	セキュリティ	情報セキュリティ対策の徹底を市民全員が安心して使えるように運用体制を徹底確保してほしい	・秋田市情報セキュリティポリシーに基づくセキュリティ対策を講じ、情報システム等の厳格な管理を行ってまいります。
20	セキュリティ	P25.情報セキュリティ対策の徹底 巧妙化するサイバー攻撃を見越して対策されても常になくならないニュース報道は、不安になります。	・秋田市情報セキュリティポリシーに基づくセキュリティ対策を講じ、情報システム等の厳格な管理を行ってまいります。
21	セキュリティ	その他 ボタン1つで事務処理できることにより、以前ニュースになった、誤送信による事故の送信者の責任だけでなく送信された人も犯罪者になってしまうような事例を防ぐ手立ては、より重要になると考える。	・これまでもメールの送信設定や情報漏えいの危険性等について、情報セキュリティ研修を実施してきたほか、外部の複数の宛先へ一斉送信する場合については、チェックリストを活用し送信前の確認を徹底するなど、対策に努めてきたところであります。 ・また、システムによる誤送信対策については、今後のシステム更新に併せ、他者のメールアドレスが見えなくなる、いわゆるBCCを強制化する機能や、添付ファイル自動暗号化機能などの導入を検討しているところであり、情報セキュリティの強化に取り組んでまいります。
22	デバйд対策 セキュリティ	人口減少が進んでおり、デジタル化による行政の業務効率化は、急がなければなりません、高齢者をデジタル社会から落とさないように配慮願ひます。 サイバー攻撃対策を強化し、市民のプライバシーや財産などの情報漏洩もれに留意願ひます。	・秋田市情報セキュリティポリシーに基づくセキュリティ対策を講じ、情報システム等の厳格な管理を行ってまいります。
23	デバйд対策 セキュリティ	3 国のデジタル施策 新型コロナウイルスの蔓延により、デジタル化推進が叫ばれ、2G3Gの通信手段が衰退方向となり、4G現在は5Gへの移行が急ピッチで進められている現状です。それに伴い端末機器が急速に普及したようです。私自身、追立てられる様にスマホに転換した様な訳です。一度デジタル処理に慣れると、手書き処理に戻れない感じです。行政サービス、決済などのデジタル処理は、計画通りおすすり頂ければと思ひます。 (3)誰一人取り残されないための仕組み デジタル処理、スマホ活用の仕方、スマホ操作の展開についての、講習会もさることながら、困った時の相談、解決の仕方についての、専属か、準専属的な人員の配置の検討をお願いしたい、予約での対応はありますが、これは民間のヘルプサービス(有償)への侵害という悩ましい問題がお有りかもしれませんが、有限の人的資源の中での調整ができればの話となりますが。 重箱の隅を突つた話になりますが、セキュリティについて 20数年前の5月のゴールデンウィークの最中に、一般へのPCの普及が急加速化してきた黎明期に、ドイツの少年からトライ精神で発せられたウィルスは、事も無げに、私のPCを人事不省に陥らせたのでした。為す術もなく暫らく途方に暮れました。最近不用意に、ネットサーフィン(ブラウジング)すると、「トロイがなんたら」「ドキュメントファイルをかんたら」が頻発している。 よろしく。	・この度改定する本計画に基づき、市民の利便性の更なる向上と行政運営の効率化を図り、より多くの方々デジタル化の恩恵を実感できるよう努めてまいります。 ・現在、市役所とアルヴェに「スマホ相談窓口」を設置しており、スマホの操作に関する相談を受け付けています。様々な形態で、他の主体が実施するスマホ教室等のフォローアップを図る取組を行っており、引き続き、市民のデジタルデバйдの解消に努めてまいります。また、今後市民の方に向け、ウィルスに感染しないように注意する部分も含めたセキュリティ関連の動画も公開していく予定です。 ・セキュリティ対策として、秋田市情報セキュリティポリシーに基づくセキュリティ対策を講じ、情報システム等の厳格な管理を行ってまいります。
24	デバйд対策	デジタル化はこれからの社会で必要欠かざる事なので是非押し進めてほしいですが、七十代の私はデジタルに疎く、内容に関してよくわからないので、残念ながら意見を述べることは出来ません。 今回ページ数が多いので、資料を印刷しないでパソコン画面で読み進めて行きましたが、BPRやRPAなどのわからなかつたりうる覚えだつたりする言葉が多く、スマホで検索しながら読み進めていったので、とても時間がかかりました。資料の最後にまとめて言葉の説明がありました、出来れば文と同じページの欄外等にあつた方が良かったと思ひました。計画の文章上、それは出来にくいのだと思ひましたが。(ウィキペディアのように番号でクリックできる形でもいいですが)また、紙では大事どころにマーカーで線を引いたり印を付けたり出来ますが、画面では出来ず(やり方がわからなかつただけでしょうか)、文章が頭の中を通り過ぎていき理解するのが大変でした。 年を取ると体のあちこちの機能が衰え、新しいことを覚えにくくなるだけでなく、今まで出来たこともできなくなります。デジタル化を押し進めるに当たって、そういう人たちがいることを踏まえ、百パーセントを目指さないで取り組んでほしいと思ひました。	・デジタル化を進めるに当たっては、高齢者や障がい者の方々にも十分に配慮し、簡易な入力方法の検討や、分かりやすい利用方法の周知を行うなど、利用者の不安を解消できるよう適切に対応してまいります。

秋田市デジタル化推進計画【第2.0版】（骨子案）に対するご意見一覧

デジタル化推進本部

NO.	分類	意見内容	意見へのご回答
25	デバインド対策	<p>P.4デジタル化の動向、アイ スマートホンの普及は確かに目を見張るものがあり 今や老若男女問わず、使用の範囲は個人 違うとは言え、大多数の人が持つ時代である。 ニーズに合った情報が得られ居ながらにして 問題解決が出来る。 ”誰一人取り残されない社会の実現の為” 多機能で使いこなせる人にとっては、スマートホンでの サービスはありがたく好都合を存在である しかし、自分も含め、どれだけの人が情報に対応出来 るか? 仮に機械の装作ができるとは言え経済的なこともあり、使用料の問題も含めてしまいま す。 家計の負担にならない。やさしいサービスの提起 そして、方法がありましたら.....と勝手に思っております。</p>	<p>・総務省の最新調査結果によれば、スマートホンの世帯保有割合が9割を超えており、70歳以 上の年齢層においてもインターネットの利用割合が上昇傾向にあります。このような社会情勢を 踏まえ、本市では、各市民サービスセンター、コミュニティセンターや市立図書館をはじめとする 公共施設に無料Wi-Fiを整備しております。また、高齢者がスマートホンの操作について学 習できるよう、スマートフォン相談窓口を設置したほか、各コミセン等に講師を派遣するスマート フォン教室を開催しております。今後も市民がデジタル化の恩恵を受けることができる環境の整 備に努めてまいります。</p>
26	デバインド対策	<p>・「人に優しいデジタル化」による市民一人ひとりに寄り添った豊かな社会の実現を目指すことは理 解できるが、高齢者等デジタルに不慣れな人がデジタル機器の使用法や用語を覚えていける のか不安である。</p>	<p>・デジタル利用に不安を覚える方については、デジタル化を伴う新たなサービスを開始する際 は、高齢者や障がい者の方々にも十分に配慮し、簡易な入力方法の検討や、分かりやすい利 用方法の周知を行うなど、利用者の不安を解消できるよう適切に対応してまいります。</p>
27	デバインド対策	<p>デジタル化の取組強化した方が良い。 大賛成ですが、私のように老人には、なかなか難しい。 誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化 よろしく計画進めてほしい。</p>	<p>・デジタル利用に不安を覚える方については、デジタル化を伴う新たなサービスを開始する際 は、高齢者や障がい者の方々にも十分に配慮し、簡易な入力方法の検討や、分かりやすい利 用方法の周知を行うなど、利用者の不安を解消できるよう適切に対応してまいります。</p>
28	デバインド対策	<p>P8.秋田市デジタル化推進計画 P13、市民ファースト、デジタルファースト、スマホファースト 市民のデジタルに不慣れな人への対応が不十分 色々書いていて、やっつけてくれていると思いますが、 不慣れな人に実際に聞いて対応してくれているのでしょうか 担当者の自己満足で終わっているのでは?</p>	<p>・デジタル利用に不安を覚える方については、デジタル化を伴う新たなサービスを開始する際 は、高齢者や障がい者の方々にも十分に配慮し、簡易な入力方法の検討や、分かりやすい利 用方法の周知を行うなど、利用者の不安を解消できるよう適切に対応してまいります。</p>
29	デバインド対策	<p>P20(3)誰一人取り残されないための仕組み 私が住む地域には、老人世帯の方が相当数います。中には、子どもに勧められてスマホを持って いる人もいますが、使い方をもっと広げたいとか思っている人は 必ずしも多くないと感じます。その 理由として、Wi-Fi環境が整ってないので、経済的な面の不安があります。また、様々な用語の理 解に追いついていけないう不安もあります。年金生活者が増えていく一方で、様々な物価高 も進み、便利生活への期待感までもてない方もたくさんいると感じます。</p>	<p>・総務省の最新調査結果によれば、スマートホンの世帯保有割合が9割を超えており、70歳以 上の年齢層においてもインターネットの利用割合が上昇傾向にあります。このような社会情勢を 踏まえ、本市では、各市民サービスセンター、コミュニティセンターや市立図書館をはじめとする 公共施設に無料Wi-Fiを整備しております。また、高齢者が基本用語を含むスマートホンの 操作について学習できるよう、スマートフォン相談窓口を設置したほか、各コミセン等に講師を派 遣するスマートフォン教室を開催しております。今後も市民がデジタル化の恩恵を受けることが できる環境の整備に努めてまいります。</p>
30	デバインド対策	<p>唯一人取り残されないための仕組み P20 (3) 年令を重ねるとなかなかスマートフォンを使いこなすことは難儀ですが、皆さんそれぞれ努力して いるように思います。教室で操作方法とともに詐欺メール 迷惑メールなどの見分け方、防ぎかたも 教えてもらいたい。 デジタル化の必要性も高まると思いますが、やはり 最終的には人と人との繋がりをこれからも大 事にしてもらいたいです</p>	<p>・デジタル化の推進と併せて、被害を未然に防止するための取組として、老人クラブや町内会等 を対象とした出前講座で特殊詐欺の手口等を紹介しているほか、パネル展の開催やチラシの配 布、広報あきた等による周知、啓発を引き続き行ってまいります。 また、今後市民の方に向け、詐欺メールに注意する部分も含めたセキュリティ関連の動画も公 開していく予定です。</p>
31	デバインド対策	<p>デジタル化を進めることはとても良いことだと思いますが、最近ではスマートフォンを使った高齢 者の詐欺が多いのではないかと感じます。 詐欺集団も高齢者へターゲットを絞っていると聞きますので、高齢者への対策は必須だと思いま すので、デジタル化推進と高齢者へのフォローはセットだと思います。 電子マネーの詐欺も後を絶ちませんので、高齢者への対策を含めてデジタル化推進を行って頂け ればと思います。</p>	<p>・デジタル化の推進と併せて、被害を未然に防止するための取組として、老人クラブや町内会等 を対象とした出前講座で特殊詐欺の手口等を紹介しているほか、パネル展の開催やチラシの配 布、広報あきた等による周知、啓発を引き続き行ってまいります。 また、今後市民の方に向け、電子マネーの詐欺に注意する部分も含めたセキュリティ関連の 動画も公開していく予定です。</p>

秋田市デジタル化推進計画【第2.0版】（骨子案）に対するご意見一覧

デジタル化推進本部

NO.	分類	意見内容	意見へのご回答
32	デバインド対策	私は70才になりますが、一応スマホ、パソコンは簡単な作業ですが使いこなせております。しかし、次々と新しいシステム、アイテムが目まぐるしく自分に覆い被さってきます。これらをマスターするのにかなり四苦八苦しております。結局、マスターできない事柄もたくさんあります。 我が国の「デジタル推進計画」の構築は待ったなしです。もし、滞ることがあれば、日本は世界から取り残されてしまいます。 ところで、「デジタル推進計画」の中の「誰一人取り残さない」の部分ですが具体的にどのような対策が考えられているのですか？ 私を含め取り残される人々が全国でかなりのウェートを占めると考えられます。安易な対策ですと実行不可能だと思います。	・デジタル化を伴う新たなサービスを開始する際は、高齢者や障がい者の方々にも十分に配慮し、スマホの講習会や相談窓口などで簡易な入力方法や、分かりやすい利用方法の周知を行うなど、利用者の不安を解消できるよう適切に対応してまいります。
33	デバインド対策	・スマホ教室などには参加したことがないが、今後どのようにデバインド対策が進められていくのか期待します	・デジタル化を伴う新たなサービスを開始する際は、高齢者や障がい者の方々にも十分に配慮し、簡易な入力方法の検討や、分かりやすい利用方法の周知を行うなど、利用者の不安を解消できるよう適切に対応してまいります。また、スマホ教室や相談窓口は、はじめての方を歓迎しておりますので、ぜひご利用いただければと思います。
34	デバインド対策	マイナンバーカードの手続きは簡単でしたがポイントのスマホ操作が大変でした。ポイントを入れるカードから始まりました。 職員のデジタル枠を設けて人材を確保しても、末端の市民までは届かないと思います。スマホがなくて締められた人への対応もあったのでしょうか？ 年代層によってデジタルについていけない人がいるのではないのでしょうか 今後年少人口が減少し老年人口が生産年齢人口を上回ると予想される今サービスが受けられない市民がいないように願いたい	・本市では、マイナポイントを取得するための申込み手続きをご自身で行うのが難しい方をサポートするマイナポイント支援窓口を設置しておりました。窓口ではスマートフォンをお持ちでない方もサポートしており、今後も引き続き、デジタル化を進める際は、高齢者や障がい者の方々にも十分に配慮し、簡易な入力方法の検討や、分かりやすい利用方法の周知を行うなど、利用者の不安を解消できるよう適切に対応してまいります。
35	デバインド対策	・市民一人ひとりが技術を使いこなしながらについて ・年金暮らしの高齢者にとってデジタルアイテム購入、教室に通う環境を整えるにはお金がかかりすぎて、ムリかと思えます	・本市では、スマートフォンをお持ちでない方に対しても無料でスマホ教室を実施しており、教室で学んでからデジタル機器の必要性を検討していただくことも可能と考えております。
36	デバインド対策	P20 ア デジタルデバインド対策 スマートフォンのスキルアップが主体の対策ではあるが、もっとデジタル弱者に目を向ける必要があるのではないかと考える。 今後はスマートフォンでの手続きが主体になるものと思うが、画面の見やすいパソコンやタブレットなどの利用者も多くいるので、オンライン手続きや情報取得のツールとして残していただきたい。 また、一般市民には、スマートフォンもパソコンも使えない高齢者や障害者が多数おり、その方たちも「誰一人取り残されないための仕組み」が重要ではないかと考える。デジタル化推進計画とは別の課題かもしれないが、高齢者や障害者の支援の体制づくりと支援者のスキルアップ、支援者の使いやすいデジタル機器の開発などに取り組んでいただきたい。	・オンライン申請については、スマートフォン以外のパソコンやタブレットも対応可能となっております。 ・また、デジタル化を伴う新たなサービスを開始する際は、高齢者や障がい者の方々にも十分に配慮し、簡易な入力方法の検討や、分かりやすい利用方法の周知を行うなど、利用者の不安を解消できるよう適切に対応してまいります。
37	デバインド対策	P21 デジタルスキルの定着には、スマートフォン教室を受講した後も継続して学習することや、場所や時間を問わず反復することができるサポートが必要です。 →根拠を教えてください。高齢者は、使っていないかなら使えないのか、使っているのに忘れるのか、動画の需要などもそうですが、実情や問題点がよく分かりません。	・本市が実施しているスマホ相談窓口や出前講座の受講者からは「1回学んだだけではデジタルスキルを習得できない」という声を多くいただいております。実際、これらの事業の参加者の半数以上は、同じものを複数回受講しています。また、動画での学習について半数以上が意欲を示しています。 そのため、本市では、国や県・民間のスマホ教室を受講した参加者へのフォローアップとして、今後、テキストや動画での学習に力を入れていきます。
38	デバインド対策	高齢者や障がい者だれでもがデジタルを使用できるよう取り組んでほしい	・デジタル化を伴う新たなサービスを開始する際は、高齢者や障がい者の方々にも十分に配慮し、簡易な入力方法の検討や、分かりやすい利用方法の周知を行うなど、利用者の不安を解消できるよう適切に対応いたします。
39	防災	P18 昨年の水害から災害情報をライン、Xを使った画像での情報共有をすることで、未然に事故防止ができると思われまますので、災害カメラの設置を多くしていただき、被害を最小限にして頂ければと思います。	・災害情報については、様々な手段を利用して適時適切に周知するとともに、河川や道路等に設置しているカメラ等から得られる情報を活用して、防災・減災に努めてまいります。
40	防災	P19(キ) 安全・安心を実現する情報基盤の整備 →市民からの問い合わせや意見等を一つの情報として集約、コメント数や内容を分析し、施策に生かしてはいかがでしょうか。 →7月の大雨災害時には、初動から情報発信は機能しなかったと記憶しています。あの時は何が問題だったのでしょうか？また、市役所の職員も多く被災した場合は考慮されているのでしょうか？	・本市においては、市民からの問合せや意見等を広報広聴課を通して、所管する課所室で判断し、施策立案・実施に活かしております。 ・豪雨災害の対応については、現在検証委員会において検討を進めておりますので、その結果がまとまった後に公開することとなります。

秋田市デジタル化推進計画【第2.0版】（骨子案）に対するご意見一覧

デジタル化推進本部

NO.	分類	意見内容	意見へのご回答
41	その他	P23芸術文化・スポーツ・観光による都市の魅力向上 →秋田市はコンパクトシティ構想において、文化に重点を置くことを明示していたと記憶しています。実際にデジタルを活用した持続的な事業を展開するなら、国の事業等に申請しているのでしょうか？例えば、ユネスコ創造都市ネットワークなど、国内でもトップランナーになりえるような事業があると思います。	・第2期秋田市中心市街地活性化基本計画の成果を引き継ぎつつ、さらなる活性化とにぎわいの創出を図るため、令和5年3月に、国への申請を伴わない秋田市中心市街地活性化プランを策定し、その目標の一つに「芸術文化が香るまち」を掲げております。
42	その他	デジタル化推進計画を読むにあたり VI用語解説は役に立ちました。 これからはデジタルが増々必要技術だということがわかった。	・計画はもとより、デジタル化を推進するに当たっては、平易な用語を用いたり、分かりやすい説明を行うよう努めてまいります。

組織	1
効率化	11
広報	1
情報アクセス	1
人材育成	4
セキュリティ	6
デバйд対策	17
防災	2
その他	2
延べ件数	45

2つの分類があるものはそれぞれでカウント(42+3=45)